

第2回 横浜市都田地域ケアプラザ及び
横浜市都田地区センター指定管理者選定委員会会議録

日 時	令和3年4月16日（金）9時30分～12時00分
開 催 場 所	都筑区役所6階 大会議室
出 席 者	村井委員長（田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科教授） 秋山委員（税理士） 大野委員（都筑区保健活動推進委員会会長） 木村委員（都筑区主任児童委員連絡会代表） 小林委員（都筑区民生委員児童委員協議会副会長） 志田委員（都筑区青少年指導員連絡協議会会長） 竹迫委員（参画はぐくみ工房代表） 村田委員（都筑区連合町内会自治会会長）
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者9人）
議 題	1 会議の公開・非公開について 2 応募資格等の確認について 3 選定方法の確認について 4 面接審査 5 採点審査（指定候補者の選定）
決 定 事 項	1 応募資格等の確認、選定方法の確認、及び応募団体の面接審査におけるプレゼンテーション及び質疑応答部分は公開とし、指定候補者の選定に係る採点審査は非公開とした。 2 社会福祉法人秀峰会を指定候補者に決定した。 3 委員会の選定結果について、都筑区長に報告することとした。
審 議 内 容	1 会議の公開・非公開について 応募資格等の確認、選定方法の確認、及び応募団体の面接審査におけるプレゼンテーション及び質疑応答部分は公開とし、指定候補者の選定に係る採点審査は非公開とした。 2 応募資格等の確認について 事務局より応募のあった1団体が当公募の欠格事項に該当しないことを報告した。 3 選定方法の確認について 事務局より採点方法、最低制限基準点及び選定方法についての説明を行った。 4 応募団体の面接審査 【社会福祉法人秀峰会】 (1) 社会福祉法人秀峰会によるプレゼンテーションが行われ、以下のような質疑応答があった。

(委員) 施設が高台に立地しておりアクセスがあまりいいとは言えないが、来所への交通手段に関して具体的にどのように考えているのか。

(回答) まだ土地の状況などを具体的に調査している訳ではないが、設置の工事が終了した段階で施設に敷設されている分に加えて駐車場の確保を検討している。地域ケアプラザ分として送迎にも使用できるワゴン車1台を用意することも検討している。

(委員) 車での来所ニーズが高いと想定される中で、施設の駐車場台数も限られており、利用者だけでなく職員用スペースも必要だと思われる。地域の送迎も含めて総合的にどのように計画を考えているのか。

(回答) 運営が開始されている訳ではないが、地域のニーズとしてどのようなアクセス動線がいいかなど、事業の状況に合わせて考えていきたい。確保する駐車場の場所は未定だが、地域のご協力を得ながら決めていきたい。職員も既存の公共交通機関だけでは難しいと考えている。いい人材を集めるためにも交通手段を検討しなければならない。具体的な案は提示できないが、職員も含めて地域の皆様が来ていただきやすい環境をつくっていきたい。

(委員) 地区センターと地域ケアプラザの役割が異なる中、地域ケアプラザと地区センターの自主事業が似ていると感じる。どこに違いがあるのか教えてほしい。

(回答) 広く捉えると地域ケアプラザのまちづくりは安全安心なまちづくりであり、地区センターも基本は同じと考えている。地域ケアプラザでは、対象が地域福祉保健分野にある程度限られるが、例えば趣味やスポーツなどの分野にも教育的に有意義な活動はある。地域ケアプラザで取り上げられないものを地区センターで広く支援していきたい。地域のニーズに対応しながら、地域からの要望も採用していきたい。

(委員) 次の事項についてお伺いしたい。

他の地域ケアプラザなどでの運営実績も含めて法人の特色を教えてください。

地域のニーズ調査を行ったとのことだが、どのような形で行ったのか。

世代交流や子育てボランティア事業は簡単ではないが、どのように進めていくのか。

地域のニーズをどのように取り入れるのかについて、自主事業の特性が他の地区センター・地域ケアプラザとの違いが分からなかったため、アピールするところがあれば教えてください。

(回答) 法人の特色としては高齢福祉を中心としている。地域ケアプラザや特別養護老人ホーム、介護保険に関する事業所を専門としている。地域ケアプラザの中では地域との関わり合いを大切にしている。

地域のニーズについては開所後に、地域の皆様からの声をアンケートや口頭でご意見を聞いていきたい。あわせて、連合町内会や民生委員児童委員協

議会、地区社会福祉協議会などの団体からもご意見も承る方向で考えたい。地域の実態を知るためにお祭りや盆踊り、催し物などの雰囲気を見させていただいていた。指定管理者の選定後にニーズ調査をしていきたい。

子育てボランティアについては難しさも承知している。様々な活動団体から意見を聞き、連携しながら進めていきたい。

確実に稼働率が上がる方法は見出しにくいですが、運営していく上で課題が見つかると思うので一つひとつ解決していきたい。地域の皆様からのご意見も参考にしていきたい。

(委員) コロナ禍における施設の運営について対応策や考え方について、どのように考えているのか。

(回答) 行政の施設は共通のマニュアルによって予防対策している。来年4月ほどのような状況か予想できないが、感染予防のための資材や物資、消毒液、マスクなどを備えていく。利用者のために感染予防の意識を持ってもらうための勉強会も開所後に行いたい。

5 採点審査

面接審査を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

団体名	評点/満点
社会福祉法人秀峰会	2,336点/3,240点

(審査講評)

指定候補者（社会福祉法人秀峰会）

- ・当団体は財務状況も優れており、他の地域ケアプラザも含めた管理運営等の実績も豊富であり、安定した運営ができると考える。
- ・開所後から検討を始める待ちの姿勢ではなく、予め地域特性を把握していくなど、積極的に働きかける姿勢を持つことを期待したい。
- ・地域の人の来所を促すための具体的なPR方法を工夫してほしい。
- ・地区センターにおいては地域ケアプラザとの違いを明確にして、都田地区ならではの具体的なビジョンを描いてほしい。地域ケアプラザや学校など様々な圏域や地域の関係団体等を事前に把握するとともに、また地域連携を強化するためにコーディネート機能の充実に配慮してほしい。そして、地区センターと地域ケアプラザとの合築館の強みを発揮できるよう期待したい。

採点の結果、最低制限基準点を超過していることを確認した。

社会福祉法人秀峰会を指定候補者とすることで決定した。

また、選定結果については、都筑区長に報告することとした。

資 料	(資料1) 第2回選定委員会タイムスケジュール (資料2) 評価・採点方法について (資料3) 評点表 (資料4) 採点審査について
-----	---